

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和2年11月12日(2020.11.12)

【公開番号】特開2020-127419(P2020-127419A)

【公開日】令和2年8月27日(2020.8.27)

【年通号数】公開・登録公報2020-034

【出願番号】特願2020-81545(P2020-81545)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/62	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
C 1 2 N	15/12	(2006.01)
C 0 7 K	14/435	(2006.01)
C 0 7 K	19/00	(2006.01)
A 6 1 K	38/17	(2006.01)
A 6 1 K	35/614	(2015.01)

【F I】

C 1 2 N	15/62	Z
A 6 1 P	37/02	
C 1 2 N	15/12	
C 0 7 K	14/435	
C 0 7 K	19/00	
A 6 1 K	38/17	Z N A
A 6 1 K	35/614	

【手続補正書】

【提出日】令和2年9月29日(2020.9.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

スチコダクチラ・ヘリアンサス毒素S h Kのアナログであって、S h K毒素ポリペプチドと、

S E W S S(配列番号9)からなるN末端伸長とを含む、前記アナログ。

【請求項2】

スチコダクチラ・ヘリアンサス毒素S h Kのアナログであって、S h K毒素ポリペプチドと、E W S S(配列番号2)、E W S T(配列番号6)、E W T T(配列番号7)及びE W T S(配列番号8)からなる群から選択されるN末端伸長とを含む、前記アナログ。

【請求項3】

S h K毒素ポリペプチドが、R S C I D T I P K S R C T A F Q C K H S M K Y R L S F C R K T C G T C(配列番号4)に対応するアミノ酸配列を含む、請求項1又は2に記載のアナログ。

【請求項4】

S h K毒素ポリペプチドが、M e t 2 1の置換を含むバリアントアミノ酸配列を含む、請求項1又は2に記載のアナログ。

【請求項5】

C y s 3 ~ C y s 3 5、C y s 1 2 ~ C y s 2 8及びC y s 1 7 ~ C y s 3 2の間にジ

スルフィド架橋を有するポリペプチドである、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載のアナログ。

【請求項 6】

細胞透過性ペプチドをさらに含む、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載のアナログ。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載のアナログを含む、自己免疫疾患の治療剤。

【請求項 8】

治療される自己免疫疾患が、T_{E M} 細胞によって媒介される自己免疫疾患である、請求項 7 に記載の治療剤。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載のアナログを含む、がんの治療剤。

【請求項 10】

がんが固形腫瘍、白血病又はリンパ腫である、請求項 9 に記載の治療剤。

【請求項 11】

請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載のアナログをコードするヌクレオチド配列を含むポリヌクレオチド分子。

【請求項 12】

請求項 1 1 に記載のポリヌクレオチド分子を含むクローニング又は発現ベクター。

【請求項 13】

請求項 1 1 に記載のポリヌクレオチド分子又は請求項 1 2 に記載のクローニング若しくは発現ベクターを含む宿主細胞であって、培養中に請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載のアナログを発現することができる、前記宿主細胞。